

県民芸術文化祭 2023 参加
第 72 回富山県芸術祭

美術連合展

富山県民会館 <入場無料>

令和 5 年 11 月 25 日(土)～ 11 月 28 日(火)

午前 10 時～午後 5 時

(但し、初日開会式は10時開始、最終日は午後3時まで)

主催：富山県・富山県芸術文化協会

富山県美術連合会(日本画家連盟・洋画連盟・彫刻家連盟・
工芸作家連盟・書道連盟・写真連盟)

後援：北日本新聞社・NHK 富山放送局・北日本放送

富山テレビ放送・チューリップテレビ・富山エフエム放送

ご来館されるみなさまへ

- 館内では、動植物の持ち込みを禁止しています(身体障がい者補助犬は入館可能です)。館内への祝い花等の持ち込み、郵送でのお贈りをご遠慮ください。
- ご来館の際は、当館ホームページの「入館時のお願い」をご確認ください。

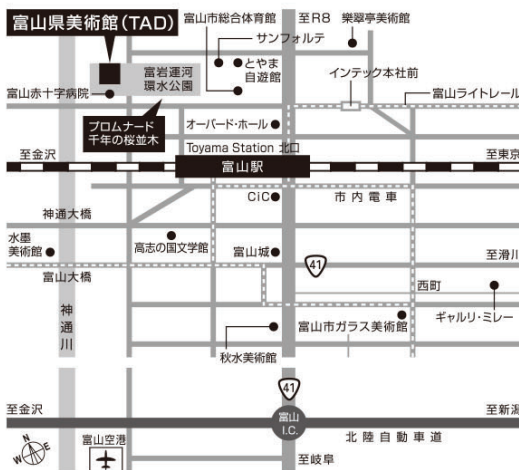
アクセス

- JR 富山駅北口から
徒歩：約 15 分
タクシー：約 3 分
バス：1 番のりばより乗車、「富山県美術館」下車すぐ
- 富山空港から
タクシー・車：約 20 分(渋滞なし)※約 9km
- 北陸自動車道より
富山 I.C. から国道 41 号経由：約 15 分(渋滞なし)

※美術館及び環水公園利用の方は、駐車場が 2 時間無料です。

※美術館の駐車場(8:00-22:30)は数に限りがあり、土日や祝日等は混雑が予想されます。

お越しの際はなるべく公共交通機関をご利用いただくか、満車の際は恐れ入りますが、環水公園立体駐車場など周辺駐車場をご利用ください。



富山県美術館(TAD)

〒930-0806 富山県富山市木場町 3-20 (富岩運河環水公園内)

TEL: 076-431-2711 <https://tad-toyama.jp/>

富山県美術連合会 作家展 2023

3つのシンフォニー

前期

2023 10/5(木)～10/31(火)

日本画 温井 喜央

彫刻 齋藤 尤鶴

書 石井 克代

後期

2023 11/2(木)～11/28(火)

洋画 萩中 幸雄

工芸 上森 四郎

写真 近藤 顕子

富山県美術館 1F TAD ギャラリー<観覧無料>

開館時間 9:30～18:00 (入館は 17:30 まで)

休館日 毎週水曜日、ただし 10 月 11 日は開館

主催 富山県美術連合会、富山県美術館

ご挨拶

富山県美術連合会では、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門に所属する作家が、部門を超えて互いに切磋琢磨する場として毎年秋、本年は11月25日から28日まで「富山県芸術祭美術連合展」を富山県民会館において開催いたします。

そして、このたび富山県美術館、富山県美術連合会との主催により、富山県美術館1階TADギャラリーにて選抜作家展「富山県美術連合会作家展2023(3つのシンフォニー)」を開催いたします。

本展は、平成30年3月から始まり、前期と後期に分かれて6分野の作家たちを継続的に紹介しています。今年度は、前期は日本画部門の温井喜央、彫刻部門の齋藤尤鶴、書部門の石井克代、後期は洋画部門の萩中幸雄、工芸部門の上森四郎、写真部門の近藤顕子、6名の作家それぞれの自選による近作、代表作をご覧ください。

各分野において独自の境地を切り拓かれた出品作家たちの表現者としての世界観や、エンターテインメントとしての芸術等、ひとつの空間のなかで互いに高めあい響きあう様子を実際に会場で感じていただければと思っております。

また本展を開催するにあたり、ご協力をいただいた関係の皆様にご心より感謝いたします。

令和5年10月5日

富山県美術連合会会長 阿波加蒼岳

富山県美術連合会

<運営についての基本理念>

富山県美術連合会は、県内美術連盟(日本画家連盟、洋画連盟、彫刻家連盟、工芸作家連盟、書道連盟、写真連盟)の6団体の会員(約1,000名)で構成されています。

その基本理念は、県内の美術部門を結集し、美術作家一人ひとりが自主的研鑽向上に努め、相互の理解と美術活動の振興発展に寄与するとともに、本県の推進する文化事業に積極的に参画協力することを目的としています。

<富山県美術連合会の歩み>

- 昭和16年(1941) 富山県工芸美術作家協会が約80名の工芸作家で発足し「浅野廉」工業試験場長(高岡工芸学校校長を兼務)が理事長に就任(県工業試験場内)
- 昭和27年(1952) 富山県美術連合会とし日本画、洋画、彫刻、工芸、書の5部門で結成。「北村利正」工業試験場長が理事長に就任
- 昭和32年(1957) 写真連盟が連合会に参加
- 昭和51年(1976) 改組 富山県美術連合会として、富山県工業試験場から作家中心の連合体に生まれ変わり、会長に工芸作家の「村田吉生」が就任
- 昭和60年(1985) 第34回富山県芸術祭 美術連合展(県民会館)で現在のように6連盟が同時に展示できるようにした
- 昭和62年(1987) 第36回富山県芸術祭 美術連合展開催期間に著名人を呼び美術セミナーを開催(以後平成23年まで18回実施)
- 平成13年(2001) 第50回富山県芸術祭 美術連合展に併せ富山県美術連合会創立50年祝賀会を開催 富山県美術連合会創立50年記念誌「50年の歩み」発行
- 平成14年(2002) 第2回国際友好交流展 in デブレツェン(ハンガリー)31名出品、5名派遣
平成18年、平成22年も出品及び派遣
- 平成16年(2004) 第3回国際友好交流展遼寧省瀋陽市(中国)28名出品、9名派遣
平成19年(盤錦市)出品及び派遣
- 平成17年(2005) 第54回富山県芸術祭 美術連合展に併設し第4回国際友好美術交流展を県民会館で開催(ハンガリー・ハイドゥー・ビハール県、中国遼寧省、韓国江原道より参加)
- 平成21年(2009) 第58回富山県芸術祭 美術連合展に併設し第8回国際友好美術交流展 in Toyama 開催(ハンガリー、中国、韓国より参加)
- 平成23年(2011) 第60回富山県芸術祭 美術連合展に併せ富山県美術連合会創立60年祝賀会を開催 記念誌「富山県美術連合会創立60年記念10年の歩み」発行
- 平成24年(2012) 第61回富山県芸術祭 美術連合展に併設し「とやま国際アートキャンプ2012 作品展」(オーストラリア、チェコ、ハンガリー、インドネシア、韓国、ポーランド、アメリカ、福島県より参加)
- 平成27年(2015) 第64回富山県芸術祭 美術連合展に併設し「とやま国際アートキャンプ2015 作品展」及び「富山県・遼寧省友好写真交流展」開催

- 平成30年(2018) 第67回富山県芸術祭 美術連合展に併設し「とやま国際アートキャンプ2018」・「韓国江原道女流書藝展とやま2018」開催
- 令和3年(2021) 第70回富山県芸術祭 創立70年記念美術連合展に併せ創立70年記念式典を開催 記念誌「富山県美術連合会創立70年記念10年の歩み」発行
- 令和4年(2022) 第71回富山県芸術祭 美術連合展に併設し「とやま国際アートキャンプ2022 作品展」開催

これまでの「富山県美術連合会作家展」 (3つのシンフォニー)

- 平成29年度
会期：平成30年3月8日～4月17日
出品作家：藤井 武(洋画)、宇津 孝志(彫刻)、高岡由美子(工芸)
- 平成30年度
会期：平成31年3月7日～4月16日
出品作家：石坂 恵子(日本画)、江幡 春濤(書)、中尾 譲治(写真)
- 令和元年度
会期：前期 令和元年10月3日～11月3日
後期 令和元年11月12日～12月12日
出品作家：前期 大門 清廣(洋画)、松田 真治(彫刻)、一ノ谷敏治(写真)
後期 砂子阪政巳(日本画)、石井 駿(書)、志観寺範從(工芸)
- 令和2年度
会期：前期 令和2年10月3日～11月3日
後期 令和2年11月7日～12月6日
出品作家：前期 西藤 哲夫(日本画)、長谷川総一郎(彫刻)、鈴木 孤雲(書)
後期 吉川 信一(洋画)、前川 正治(工芸)、高橋 鐵夫(写真)
- 令和3年度
「創立70年記念 富山県美術連合会作家展2021-美の響き-」
会期：令和3年10月1日～12月18日
第1期 彫刻家連盟 10月1日～10月11日
第2期 写真連盟 10月14日～10月24日
第3期 書道連盟 10月28日～11月7日
第4期 洋画連盟 11月11日～11月21日
第5期 日本画家連盟 11月23日～12月4日
第6期 工芸作家連盟 12月7日～12月18日
- 令和4年度
会期：前期 令和4年10月6日～11月8日
後期 令和4年11月10日～12月13日
出品作家：前期 森 弘(洋画)、山本 清(工芸)
堀田 信一(写真)
後期 坂田 潤世(日本画)、高橋 勇(彫刻)
畠山 耕雪(書)



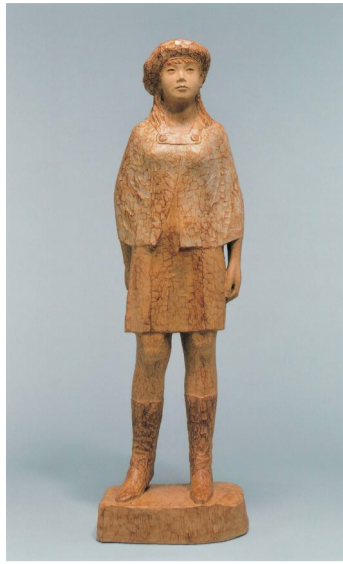
秋の香り

花びらの黄色と花芯のブラウンのコントラストが印象的なヒマワリ乾燥させたヒマワリを赤系・空間を緑系の色でまとめ、枯れたヒマワリを題材とし「秋の香り」を表しました。夏の名残のヒマワリを包み込むような背景とすることで、思い出の大切さを伝えたい。

略歴

- 1953年 富山県富山市生まれ
- 1975年 名古屋芸術大学美術学部日本画科 卒業
- 1976年 富山県勤労者美術展 富山県知事賞(富山市長賞 1回) 第11回日春展 初入選(以後8回入選・新日春会会友)
- 1980年 改組第12回日展 初入選(以後2回入選)
- 1988年 第43回富山県美術展 県展大賞(県展賞2回・奨励賞2回)
- 1989年 新鋭選抜とやま 20人展(高岡市美術館)
- 1991年 新鋭選抜とやま 20人展総集展(高岡市美術館)
- 1992年 ふるさとを描く 10人展(入善町)
- 1998年 富山県勤労者美術展 審査員
- 2000年 第11回臥龍桜日本画大賞展 入選
- 2001年 ふるさとを描く 10人展(舟橋村)
- 2002年 第57回富山県美術展 審査員(以後4回)
- 2011年 北日本新聞社「原画をあなたに」(~2013年3月)
- 2014年 富山県部門功労(文化分野)表彰
- 2016年 富山県日本画家連盟 委員長就任(~2019年)
- 2017年 富山市美術作家連合会 会長就任(~2020年)
- 2018年 ねんりんピック富山2018 美術展 運営委員(日本画部門)
- 現在 富山県美術連合会 常任理事 富山県日本画家連盟 常任相談役

温井 喜央



白い風の記憶

マヤ暦での小生の生年月日での紋章は白い風と云うらしい。白い風の使命は表現すること。私なりに女性合唱団員の出演前の様子を表現してみました。

略歴

- 1940年 富山県庄川町青島生まれ
- 1963年 第6回日展《七面鳥》初入選
- 1982年 改組第14回日展《或日の恵美子》特選
- 1983年 改組第15回日展《明日へ》特選
- 1983年 富山県優良芸術文化活動推進者表彰
- 1985年 庄川町自治功労文化賞
- 1989年 '89神戸具象彫刻大賞展 入選
- 1990年 第20回日彫展 審査員(以後3回)
- 1992年 改組第24回日展 審査員(以後3回)
- 1998年 となみ野美術展《家族》大賞 買上
- 2001年 紺綬褒章受章(2005年、2017年)
- 2003年 第58回富山県美術展《よう おいでた》会員大賞
- 2018年 改組新第5回日展《風眩し》特別会員出品 日展会員賞
- 2019年 改組新第6回日展《あおあらし》特別会員出品 東京都知事賞
- 2021年 富山新聞芸術賞受賞 第50回日彫展 第50回記念特別賞
- 現在 富山県美術連合会 理事 富山県彫刻家連盟 顧問 日展 特別会員 日展富山会 常任相談役

齋藤 尤鶴



きざし

国宝浄土寺の麓からはるか富山の地を踏んで五十余年。『書』は生き甲斐、継続することへの要因となる。「切磋琢磨」を胸にひたすら歩みたい。

略歴

- 1942年 兵庫県小野市生まれ
- 1971年 第26回富山県美術展 県展大賞
- 1976年 毎日現代女流書展 初出品
- 1977年 第32回富山県美術展 県展大賞 第26回奎星展 準同人寄託賞 後同人となる
- 1980年 第29回奎星展 同人寄託賞
- 1984年 玄美「求」展 玄美大賞
- 1992年 第47回富山県美術展 審査員
- 1993年 第42回奎星展 同人寄託賞 第45回毎日書道展《きざし》会員賞 以後審査会員
- 1999年 第54回富山県美術展《慕》会員大賞 第51回毎日書道展 審査員
- 現在 富山県美術連合会 理事 富山県書道連盟 常任相談役 毎日書道展 審査会員 奎星会 特別同人

石井 克代



大地の黙示録-視座'15

世界の終末と救済、空を舞う鷲の羽ばたき、それが象徴として問いかけてくる。「お前は何を為すべきか!!」

略歴

- 1934年 富山県上市町生まれ
- 1957年 金沢大学教育学部 卒業
- 1973年 第7回「文化庁現代美術選抜展」出品 第28回富山県美術展 審査員(以後7回)
- 1984年 一陽会会員推挙、以後審査員
- 1994年 第45回全国造形表現・図画工作・美術教育 全国大会 富山大会 実行委員長
- 1995年~2007年 海外取材旅行(イタリア、フランス、スペイン、ドイツ、アメリカ等、ハンガリー美術キャンプ参加)
- 2004年 第59回富山県美術展 会員大賞
- 2007年 富山県功労者表彰
- 2008年 「萩中幸雄画業 50年記念個展」(富山県民会館美術館) 『萩中幸雄作品集』刊行
- 2010年 富山県美術連合会 会長就任、富山県美術展 実行委員長
- 2021年 地域文化功労者 文部科学大臣表彰
- 2022年 『萩中幸雄作品集(第2集)』刊行 瑞宝双光章受章
- 現在 富山県美術連合会 常任相談役 富山県洋画連盟 顧問 一陽会 運営委員

萩中 幸雄



流舞

天と地をつなげる天空の中を浮遊する「気」が流れ舞い降りる様子を心象的に表現してみました。展示作品は、ブロンズ・アルミニウムを素材とし、地場産業の鑄造技術を使い制作したものです。

略歴

- 1947年 富山県氷見市生まれ
- 1967年 第10回日展(彫刻) 初入選
- 1968年 第16回日彫展 初入選
- 1969年 新潟大学教育学部(彫刻専攻)卒業
- 1972年 改組第4回日展(工芸) 初入選
- 1973年 第12回日本現代工芸美術展 初入選
- 1977年 第16回日本現代工芸美術展 現代工芸賞
- 1983年 第38回富山県美術展 県展大賞 買上
- 1987年 第42回富山県美術展 審査員(以後4回)
- 1989年 第28回日本現代工芸美術展 会員賞
- 1992年 第31回日本現代工芸美術展 審査員(以後3回)
- 2006年 改組第38回日展 特選 第45回日本現代工芸美術展 理事長賞
- 2008年 改組第40回日展 特選 富山県部門功労(文化分野)表彰
- 2012年 改組第44回日展 審査員(2017年、2023年) 第67回富山県美術展 会員大賞
- 2014年 富山県工芸作家連盟 委員長就任
- 2022年 富山県美術連合会 副会長就任
- 現在 富山県美術連合会 副会長 富山県工芸作家連盟 常任相談役 日展 会員 現代工芸美術家協会 評議員

上森 四郎



白き馬 -chasing the light- 視線

日本在来馬の北海道和種馬、通称「どさんこ」。北海道開拓の担い手として逞しく生きてきましたが、歴史の流れに押され活躍の場を奪われ、近年その個体数は減少し続けています。北の地にどさんこのいる光景を残したい。そう思いながら撮影を続けています。

略歴

- 1969年 富山県富山市生まれ
- 1990年 金沢美術工芸大学日本画専攻 卒業
- 1999年 個展「サラブレッド〜風の詩」
- 2003年 日本フォトコンテスト The Works《「SNOWY HORSES 雪馬」》出品
- 2005年 第53回二科会写真部展 奨励賞
- 2006年 個展「最果ての馬」キャノンギャラリー-銀座・札幌
- 2007年 個展「最果ての馬」富山県民会館
- 2012年 第60回二科会写真部展 会友賞(2013年)
- 2015年 第70回富山県美術展 県展大賞(2016年)
- 2022年 富山県写真連盟 副委員長就任
- 2022年 第70回二科会写真部展 第70回記念会員賞
- 現在 富山県美術連合会 理事 富山県写真連盟 副委員長

近藤 顕子